

12月15日 12時—17時50分

研究発表 司会 水野貴博(西日本工業大学)

都市史学会総会(会員のみ)

記念講演 北部九州における近代地方都市の生成と(政治)

—— 地方官・政党・企業家—— 有馬 学(福岡市博物館館長) [16時20分開演]

司会 近藤和彦(東京大学名誉教授) ※終了後、懇親会を開催予定です。

2018年度 都市史学会 海峡と都市

2018年12月15日+16日

西日本工業大学小倉キャンパス

本館3階303講義室

海峡は二つの地域や海域を隔てる自然境界である一方、

陸上と海上の交通の要衝でもあり、異文化が出会う場でもある。

このような文化圏の交流・融合・衝突の場としての海峡を挟む

都市や領域の相互関係を双方向的に捉えることで、

海峡という地理的環境がどのような都市空間を生み出したのか、

建築史、文化史、政治史など多角的な視点から論じたい。

交流と分断の舞台

12月16日 9時30分—16時50分

シンポジウム 海峡と都市 —— 交流と分断の舞台 司会 趣旨説明 水野貴博

江戸城—江戸と列島「日本」—— 海洋からみた幕末史—杉本史子(東京大学)

関門海峡をめぐる芸能興行と都市空間 —— 下関を中心に— 神田由築(お茶の水女子大学)

海峡植民地シンガポールの「海峡性」— 鬼丸武士(九州大学)

船が買いたい! —— 前近代イスタンブルと海上交通— 川本智史(金沢星稜大学)

北アフリカ系王朝時代(11~13世紀)のアル・アンドルス都市

—— セビーリヤとジブラルタル海峡圏を中心に— 伊藤喜彦(東海大学)

中世英仏関係における「海峡都市」カレ— 加藤 玄(日本女子大学)

コメント 陣内秀信(法政大学) ※コメント後、全体ディスカッションを行います。



西日本工業大学小倉キャンパス
〒803-8787 北九州市小倉北区室町1-2-11
鹿児島本線西小倉駅より徒歩3分、山陽新幹線・鹿児島本線小倉駅より徒歩15分



参加費(両日共通) = 会員2,500円 / 学生・院生1,000円 / 非会員3,000円 (非会員の方は15日の総会以外は参加可)

お問い合わせ = 2018年度都市史学会大会実行委員会 convention2018@suth.jp <http://suth.jp>

803-8787 北九州市小倉北区室町1-2-11 西日本工業大学デザイン学部建築学科 水野貴博研究室気付

 都市史学会
Society of Urban & Territorial History